



仮装に花火、発酵体験など盛りだくさん

道の駅発酵の里こうざき「ハロウィン&花火」

10月28日、道の駅発酵の里こうざきで町商工会青年部主催の「ハロウィン&花火」が開催されました。

当日は、仮装した来場者にプレゼントが配られたほか、甘酒の無料配布、お米・野菜のつかみ取り、神崎中吹奏楽部の演奏や大抽選会など盛り沢山の内容でした。夜には、雨で打ちあげが心配された花火も無事に上がり、皆で花火を楽しみました。

仮装して、ハロウィンを満喫！

発酵の里 NEWS 藍染体験

道の駅ハロウィン&花火で藍染体験を行いました。かつて数件の「藍屋」があった発酵の里。江戸時代から続く伝統的な藍染は「灰汁醗酵建」と呼ばれ、タデアイの葉を100日かけて発酵させ、すくも（染料のもと）をつくり、それをさらに藍甕の中で灰汁やフスマ、石灰、酒などとともに発酵させ、その液の中で何度も染め重ねるといった技法です。四季のある日本で、一年中藍染めができるように考えだされた日本独自の技術です。

講座には23名の方が参加。輪ゴムや大豆で模様を作り、世界にひとつだけの「マイ手ぬぐい」を染めました。藍は一色ではなく、染め方や染めたときの気候、状況によって「藍四十八色」といわれるほどの多様な藍色が現れます。様々な微生物が混然となり醸し出す発酵ならではの藍染めの世界に、皆さん真剣に作成していました。



道の駅で秋の花火を楽しむ



北口広場に新たなイルミネーションを設置

第8回下総神崎駅イルミネーション点灯式

11月10日、第8回下総神崎駅イルミネーション点灯式を行いました。

点灯式では神崎・米沢保育所や米沢小学校4～6年生、神崎小学校金管部のダンスや歌、楽器演奏が会場を盛り上げました。また、駅南口は今年も「神崎小おやじの会」に装飾をして頂きました。

点灯期間は来年の1月8日まで、毎日16時30分から23時30分まで点灯しています。ぜひ、お越しください。

第8回こうざき新そばまつり

11月12日、道の駅で神崎蕎麦作り研究会が主催する第8回こうざき新そばまつりが開催されました。

会場では、神崎産そば粉を使用した新そばの販売や、そば打ちの実演が行われました。また、こうざき自然塾の神崎産なたね油で揚げたえび天なども販売され、神崎の味を堪能しました。



道の駅で食欲の秋を満喫